

TIBCO WebFOCUS®

WebFOCUS App Studio インストールガイド

バージョン 8.2.07

November 2021

DN4501633.0721



目次

1. TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio の概要	5
TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio について	5
TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio の概要とアーキテクチャ	6
TIBCO WebFOCUS App Studio コンポーネント	6
WebFOCUS 環境およびコンポーネント	6
WebFOCUS の処理	7
App Studio の処理	8
インストールおよび構成手順	8
インストールおよび構成手順	9
2. TIBCO WebFOCUS App Studio のインストール	11
システム要件	11
ハードウェア要件	11
ソフトウェア要件	11
付属の他社製コンポーネント	12
App Studio のインストール	13
App Studio の WebFOCUS と同一のマシンへのインストール	13
インストールの実行	13
App Studio のディレクトリ構造	15
インストールログファイル	16
App Studio の確認	17
App Studio のサイレントインストールおよびアンインストール	17
3. TIBCO WebFOCUS App Studio ヘルプの構成	19
TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプのオンプレミス展開	19
要件	20
Tomcat での TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの展開 ..	21
Tomcat のコンテキストファイルを使用した TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘル プ Web アプリケーションの展開	23
TIBCO WebFOCUS App Studio ヘルプの構成	24

Legal and Third-Party Notices27

1

TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio の概要

この章では、TIBCO WebFOCUS と TIBCO App Studio の概要について説明します。

トピックス

- TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio について
- TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio の概要とアーキテクチャ
- インストールおよび構成手順

TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio について

WebFOCUS は、データアクセスおよびレポート作成を一体化した Web ベースのレポートینگシステムです。ユーザはこの製品を通じて各種データに接続することができます。

WebFOCUS は、使用するプラットフォームおよびデータフォーマットの種類に関係なく、あらゆる情報にアクセスして処理を行い、Web ブラウザまたは PDF、HTML、Excel などの出力フォーマットで情報をユーザに提供します。

App Studio は、WebFOCUS アプリケーションを作成するための Windows ベースの開発環境です。App Studio は、インターフェースデザイン、ビジネスロジック、データ操作を支援する、直観的な操作のグラフィカル機能を備えています。開発者は App Studio を使用して、ユーザがレポートを作成して表示するための強力な Web ページインターフェースを作成することができます。

WebFOCUS のデータアクセス、ネットワーク通信、サーバ処理は、iWay テクノロジーにより実現されています。異なる種類のオペレーティングシステム、データベース、ファイルシステム、ファイルフォーマット、ネットワークが使用されている場合でも、この iWay テクノロジーにより、その複雑性や非互換性に関係なくデータアクセスが可能になります。iWay テクノロジーは、35 種類を超えるプラットフォームで、FOCUS、Microsoft SQL Server、Sybase、Oracle、Informix、Ingres、DB2 をはじめとする 65 種類以上のデータベースフォーマットへのローカルおよびリモートアクセスを提供します。

TIBCO WebFOCUS および TIBCO WebFOCUS App Studio の概要とアーキテクチャ

App Studio は、WebFOCUS のアプリケーションを作成、管理するために使用されます。したがって、通常は、WebFOCUS が企業に導入済みであるか、今後導入予定があることが前提になりますが、これは必須ではありません。また、App Studio のアーキテクチャおよび機能は、WebFOCUS のアーキテクチャに基づいています。

TIBCO WebFOCUS App Studio コンポーネント

App Studio の開発と管理は、次の 2 つの要素で構成されています。

- **App Studio** WebFOCUS アプリケーションを構成、作成するためのグラフィカルな開発機能およびコード生成機能を提供します。

このグラフィカルな開発機能およびコード生成機能は、WebFOCUS 環境に接続しますが、実際にレポートを処理し、データにアクセスすることはありません。

- **WebFOCUS 環境** App Studio のインストール後、企業のネットワーク上にインストールされている WebFOCUS 環境に接続することも、ローカルマシンにインストールされている WebFOCUS 環境に接続することもできます。

その他のエディションの場合、App Studio は別途インストールした WebFOCUS 環境にアクセスするよう構成します。この手順は、App Studio から実行します。

WebFOCUS 環境およびコンポーネント

WebFOCUS 環境では、WebFOCUS は Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方) をデータに接続します。エンドユーザは、Web ブラウザを介して WebFOCUS アプリケーションにアクセスします。企業には、複数の WebFOCUS 環境が存在する場合があります。各環境は、次の要素で構成されています。

- **他社製 Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方)** ユーザは、Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方) へのリクエストを作成して、WebFOCUS にアクセスします。WebFOCUS 機能は、Java Servlet コールを使用して実装することができます。App Studio と WebFOCUS の通信も、同様に Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方) を介して行います。

Windows 対応の WebFOCUS および App Studio には Apache Tomcat が同梱されているため、Web サーバや Application Server を別途用意する必要はありません。Apache Tomcat は、App Studio が Web サーバおよび Application Server として使用可能な Servlet コンテナです。

注意：静的な HTML ファイルや GIF ファイルなどの従来の Web コンテンツは、Web サーバが処理します。Application Server は通常、Java やその他のプロセスを処理しますが、その多くは従来の Web コンテンツを処理することもできます。Application Server が従来の Web コンテンツを処理することができる場合、Web サーバは必要ありません。WebFOCUS のマニュアルでは、「Application Server」という用語は、Application Server または Servlet コンテナのいずれかの意味で使用します。Servlet コンテナは通常、Application Server が処理可能なもののサブセットを処理します。

- **WebFOCUS Client** Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方) に常駐します。ユーザが Web ページまたは App Studio から Web サーバにリクエストを送信すると、WebFOCUS Client がリクエストを受信し、これを処理して WebFOCUS Reporting Server に送信します。WebFOCUS Client の接続は、Java Servlet を使用して実装することができます。また、WebFOCUS Client には、BI Portal などの、他の WebFOCUS 製品やインターフェースが含まれる場合があります。
- **WebFOCUS Reporting Server** WebFOCUS Reporting Server は、データアクセス、データ処理、レポート生成機能を提供します。WebFOCUS Reporting Server は、データへのアクセスが可能なマシン上に常駐します。WebFOCUS 環境には複数の WebFOCUS Reporting Server が存在する場合があります。

WebFOCUS は、分散アーキテクチャを採用しています。つまり、WebFOCUS Client と WebFOCUS Reporting Server は、同一オペレーティングシステムの同一マシンにインストールすることも、異なるオペレーティングシステムの複数のマシンに分散することもできます。

WebFOCUS コンポーネントおよび構成オプションについての詳細は、使用するプラットフォームに関連する WebFOCUS および iWay のインストールと構成に関するマニュアルを参照してください。

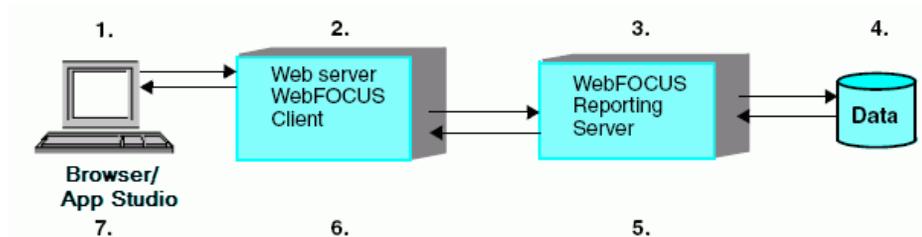
注意：通信が正常に行われるためには、App Studio を含めたすべての WebFOCUS コンポーネントのバージョン番号が同一である必要があります。

WebFOCUS の処理

次の手順は下図に対応しており、WebFOCUS または App Studio がリクエストを処理する方法を説明しています。

1. ユーザは、Web ページ上のリンクやフォームまたは App Studio から WebFOCUS Servlet を呼び出すことで、リクエストとパラメータを送信します。
2. リクエストとパラメータは、Web サーバまたは Application Server 上の WebFOCUS Client に送信されます。ここでパラメータが処理され、WebFOCUS Reporting Server に送信するリクエストが作成されます。

3. WebFOCUS Reporting Server は、リクエストを受信、処理し、必要なデータにアクセスします。
4. リクエストの処理に必要なデータがデータソースから取得されます。
5. WebFOCUS Reporting Server は、取得したデータを使用してユーザからのリクエストを処理します。
6. リクエストの結果が、WebFOCUS Client に返されます。
7. リクエストの結果が、ユーザに返されます。



App Studio の処理

App Studio のリクエスト処理方法は、WebFOCUS と同様です。App Studio は、WebFOCUS Servlet リクエストを受信するよう構成された Web サーバと Application Server (いずれかまたは両方) と通信します。次に、Servlet が WebFOCUS Reporting Server に接続して、リクエストを処理します。

Web サーバや Application Server は、App Studio をインストールしたマシン上にインストールすることも、企業内の別のマシン上にインストールすることもできます。

App Studio を構成することで、ネットワーク上の他の WebFOCUS 環境に接続することができます。接続後、リモートマシン上でファイルを作成、編集し、[データサーバ] エリアでのアプリケーションの開発や、[ドメイン] エリアでのコンテンツの開発および管理を行うことができます。

App Studio の構成と開発環境についての詳細は、『TIBCO WebFOCUS App Studio 利用ガイド』を参照してください。

インストールおよび構成手順

App Studio のインストールおよび構成の手順は、アプリケーション開発計画により異なります。

各開発者のマシンに App Studio をインストールし、各 App Studio マシンとネットワーク上の WebFOCUS 環境との接続を設定します。データにアクセスするためには、この WebFOCUS 環境の WebFOCUS Reporting Server を構成します。

- ❑ **WebFOCUS マシンへのインストール** WebFOCUS のインストールおよび構成の終了後に App Studio をインストールします。App Studio は、インストール済みの WebFOCUS 環境に接続します。

インストールおよび構成手順

次の手順を実行して、App Studio のインストールと構成を行います。

1. すべての要件が満たされていることを確認します (11 ページの「[TIBCO WebFOCUS App Studio のインストール](#)」を参照)。
2. App Studio のインストールを実行します (11 ページの「[TIBCO WebFOCUS App Studio のインストール](#)」を参照)。
3. App Studio を起動します。
4. 開発に使用する WebFOCUS 環境との接続を設定します。

2

TIBCO WebFOCUS App Studio のインストール

この章では、App Studio のインストールプログラムの実行方法について説明します。

トピックス

- システム要件
 - App Studio のインストール
 - App Studio の確認
 - App Studio のサイレントインストールおよびアンインストール
-

システム要件

インストールを実行できるのは、Windows マシンの管理者のみです。

次の要件を読んで、使用するマシンで App Studio を実行可能であることを確認してください。

ハードウェア要件

App Studio は、64 ビットのアプリケーションです。使用する Windows マシンは、次のハードウェア要件を満たす必要があります。

- 2 GHz 以上のデュアルコア 64 ビット (x64) のプロセッサ
- 8 GB の RAM (推奨)
- ハードディスクの空き容量 8 GB
- 1366 x 768 の解像度 (推奨)

ソフトウェア要件

使用する Windows マシンは、次のソフトウェア要件を満たす必要があります。

- Windows 10、Windows 2019、Windows 2016、2012、2012 R2、2008、または Windows 2008 Server R2 エディション**
- Adobe Reader** Adobe Reader XI (11)、Adobe Reader X (10)、Adobe DC は、App Studio で動作保証されています。

- ❑ **Adobe Flash Player** Adobe Flash Player 10 以降は App Studio で動作保証されています。Active PDF レポート出力フォーマットに必要です。

Adobe Flash Player についての詳細、および 64 ビット版のブラウザに関するサポート状況を確認するには、Adobe の Web サイトを参照してください。

<http://www.adobe.com>

注意：App Studio は、Visual Studio を使用して開発され、Visual Studio 2012 の Visual C++ 再頒布可能パッケージが必要です。Visual C++ 再頒布可能パッケージからは、Visual C++ ライブラリのランタイムコンポーネントがインストールされます。これらのランタイムコンポーネントは、Visual Studio 2012 がインストールされていないコンピュータで、Visual Studio 2012 を使用して開発されたアプリケーションを実行するために必要です。ほとんどのマシンには必要なライブラリが存在します。ただし、App Studio を実行する際に、このアプリケーションの実行に必要な更新済みファイルがシステムに存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

```
The program can't start because mfc110.dll is missing from your computer.  
Try reinstalling the program to fix this problem.
```

または

```
This application has failed to start because the application configuration  
is incorrect. Reinstalling the application might fix the problem.
```

この問題を解決するには、「<https://www.microsoft.com>」から Visual Studio 2012 x64 の Visual C++ 再頒布可能パッケージの最新アップデートをダウンロードしてインストールします。

付属の他社製コンポーネント

次の他社製コンポーネントが、App Studio のエディションに同梱されています。

- ❑ **Oracle JRE 1.8.0_291** Oracle JRE の最新バージョンは、次の Web サイトから入手可能です。

<https://www.oracle.com/java/technologies/javase-jre8-downloads.html>

App Studio のインストール

インストールユーティリティを実行するには、次の 2 つの方法があります。

- ❑ **グラフィカル (GUI) インストール** デフォルト設定のインストールモードです。パラメータの入力を要求するダイアログボックスが表示されます。App Studio をはじめてインストールする場合は、GUI インストールを使用する必要があります。ここでは、App Studio の標準 GUI インストールについて説明します。
- ❑ **サイレントインストール** テキストファイルを指定してインストールを実行します。テキストファイルにインストールパラメータが記述されているため、GUI ダイアログボックスは表示されません。

App Studio の WebFOCUS と同一のマシンへのインストール

WebFOCUS と App Studio を同一のマシンにインストールする場合は、次の手順を実行します。

1. 使用するマシンが WebFOCUS の要件を満たしていることを確認します。
2. WebFOCUS を完全にインストールし、構成します。
3. App Studio をインストールします。

インストールの実行

App Studio をインストールするには、次の手順を実行します。

注意：インストールを実行できるのは、Windows マシンの管理者のみです。

手順 **App Studio のインストールを実行するには**

App Studio のインストールファイルは、インターネット経由でダウンロードすることができます。

1. ダウンロード済みのインストールファイルを実行します。
2. インストールに使用する言語を選択します。

App Studio では、製品のインストールプロセスで英語、日本語、フランス語、ポルトガル語 (ブラジル) の使用がサポートされます。

インストールプロセス中に表示される言語は、ユーザのマシンのシステムロケールに基づきます。ロケールが英語、フランス語、ポルトガル語 (ブラジル) に設定されている場合、[言語] ドロップダウンリストから [English]、[French]、[Brazilian Portuguese] を選択することができます。日本語の場合は、[日本語] または [English] を選択できます。App Studio インターフェースは、インストール時にユーザが選択した言語を使用するよう構成されます。

App Studio のインストール後に言語を変更するには、[App Studio オプション] ダイアログボックスの [全般] タブに表示される [言語] ドロップダウンリストを使用します。

3. [OK] をクリックします。

[開始画面] ダイアログボックスが開きます。

4. [次へ] をクリックします。

[ライセンス契約] ダイアログボックスが開きます。

5. [使用許諾契約の条項に同意する] を選択した後、[次へ] をクリックします。

App Studio のバージョンがマシンにインストール済みの場合は、[インストールの種類を選択] ダイアログボックスが開きます。次のいずれかを選択します。

- インストール済みのバージョンを新しいサービスパックレベルに更新するには、[更新] を選択し、更新する既存のインスタンスを選択した上で、[次へ] をクリックします。

[更新] を選択した場合、[インストール前の確認] ウィンドウが開きます。[次へ] をクリックして、手順 11 へ進みます。

- WebFOCUS で利用可能な機能をすべてインストールするには、[完全インストール] を選択します。

[完全インストール] を選択した場合、[ソフトウェアの登録] ウィンドウが開きます。[次へ] をクリックして、手順 6 へ進みます。

6. [ソフトウェアの登録] ダイアログボックスで、ユーザ名および会社名を入力し、[次へ] をクリックします。

[ソフトウェア情報] ダイアログボックスが開き、App Studio のソフトウェア要件および構成オプションが表示されます。

7. 要件を確認し、[次へ] をクリックします。

[プログラムフォルダの選択] ダイアログボックスが開きます。

注意: 1 台のマシンに複数の App Studio をインストールする場合は、プログラムフォルダ名に接尾語を追加することができます。デフォルト名を変更すると、App Studio のインストール先フォルダ名も変更されます。たとえば、デフォルトフォルダ名が「WebFOCUS 82 App Studio」の場合、製品のインストール先フォルダ名は「¥AppStudio82」になります。

8. デフォルトフォルダをそのまま選択するか、別の名前を指定して、[次へ] をクリックします。

[インストール先の選択] ダイアログボックスが開きます。

9. 次のパスを指定するか、デフォルト値をそのまま選択します。
 - a. **製品のインストールディレクトリ** このディレクトリには、ソフトウェア実行ファイルが格納されます。新しいソフトウェアは、このディレクトリに保存されます。
デフォルト値をそのまま使用するか、[選択] をクリックして、別のディレクトリを選択します。
 - b. **アプリケーションディレクトリ** このディレクトリには、製品に同梱されているサンプルアプリケーションが格納されます。
デフォルト値をそのまま使用するか、[選択] をクリックして、別のディレクトリを選択します。
 - c. **ディスク** ソフトウェアのインストールが可能な複数のディスクや共有フォルダが存在する場合は、インストール先を 1 つ選択します。

10. [次へ] をクリックします。

[インストール前の確認] ダイアログボックスが開きます。

11. インストール中に実行が必要なタスクの概要を確認し、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。

インストールの進行状況を示すウィンドウが表示されます。

インストールが完了すると、[インストールの完了] ダイアログボックスが開きます。

12. [完了] をクリックし、インストールを終了します。

注意: インストールが完了すると、製品のショートカット群が含まれたプログラムグループが自動的に作成されます。これらのショートカットにアクセスするには、[スタート] メニューから [すべてのアプリ] (Windows 10)、[Information Builders] を順に選択します。

App Studio のディレクトリ構造

インストールの終了後、ディレクトリ構造が作成されます。デフォルトのパスは、次のとおりです。

`C:\¥ibi`

次に挙げるのは、主要なサブディレクトリの一部です。実際のディレクトリは、ライセンスにより異なります。

`¥AppStudio82¥backup_files`

アップグレード時に次のフォルダに既存のインストールファイル全体のバックアップが作成されます。

`..¥AppStudio82¥backup_files`

複数のアップグレードを実行した場合、既存の最新バックアップの名前が、フォルダ名と後続の現在日付スタンプおよびタイムスタンプで変更されます。以下はその例です。

`..¥AppStudio82¥backup_files_09.22.2020.13.46¥`

`¥AppStudio82¥bin`

WebFOCUS アプリケーションを作成するためのグラフィカルコンポーネントを格納します。

`¥AppStudio82¥config`

インストール情報が保存されている `install.cfg` ファイルを格納します。

`¥AppStudio82¥jre`

インストールプログラムで使用される Java を格納します。

`¥AppStudio82¥logs`

ログファイルを格納する領域です。

`¥AppStudio82¥temp`

内部プロセス用の領域です。

`¥AppStudio82¥Uninstall`

App Studio のアンインストールに使用される製品コンポーネントを格納します。

`¥AppStudio82¥Utilities`

その他の構成に使用される機能およびファイルを格納します。

インストールログファイル

App Studio は、Windows では次の場所にログファイルを作成します。

`drive:¥Users¥user_id¥AppStudio_Debug_date_time.log`

`drive:¥Users¥user_id¥WebFOCUS_82_App_Studio_Install_date_time.log`

説明

`user_id`

Windows のユーザ ID です。

`date_time`

ログファイルの作成日時です。

これらのログファイルには、App Studio のインストール情報が含まれます。インストールの問題で技術サポートに問い合わせる場合は、このファイルを用意してください。

App Studio の確認

App Studio は、レポートの作成やレポート処理のために、WebFOCUS 環境に接続します。

- WebFOCUS がインストールされているマシンに App Studio をインストールすると、App Studio は、既存の WebFOCUS 環境を使用します。環境によっては、[WebFOCUS 環境のプロパティ] ダイアログボックスで、Web サーバのポート番号を指定したり、デフォルトの接続設定を変更したりする必要があります。

App Studio のサイレントインストールおよびアンインストール

App Studio では、処理を自動化し、プロンプトを削除したサイレントモードでのインストールおよびアンインストールが可能です。サイレントインストールでは、パラメータを指定するためのダイアログボックスは表示されません。その代わりに、パラメータをテキストファイルで作成し、サイレントインストールの実行時に、このファイルを指定します。サイレントアンインストールでは、パラメータファイルを使用しません。

手順 App Studio バージョン 8.2 をサイレントモードでインストールするには

インストールをサイレントモードで実行するには、インストールパラメータを記述したファイルを作成する必要があります。

1. コマンドプロンプトを起動します。

2. App Studio バージョン 8.2 のインストールプログラム (例、AppStudio8207.exe) が格納されているディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。

```
AppStudio8207.exe -r drive:¥fullpath¥filename.properties
```

注意: サイレントインストールを実行する前に、必ずプロパティファイルを生成し、すべてのプロパティが正しいことを確認します。

❑ プロパティファイルには、.properties という拡張子が付けられます。

❑ プロパティファイルの作成先をフルパスで指定する必要があります。

3. インストールをサイレントモードで実行するには、App Studio のインストールプログラム (例、AppStudio8207.exe) が格納されているディレクトリに移動し、次のコマンドを入力します。

```
AppStudio8207.exe -i silent -f drive:¥fullpath¥filename.properties
```

手順

App Studio バージョン 8.2 をサイレントモードでアンインストールするには

アンインストールをサイレントモードで実行するには、[管理者として実行] オプションを使用してコマンドウィンドウを起動し、「-i silent」オプションを追加してアンインストール実行ファイルを実行します。

以下はその例です。

```
C:¥ibi¥AppStudio82¥Uninstall>Uninstall.exe -i silent
```

3

TIBCO WebFOCUS App Studio ヘルプの構成

WebFOCUS App Studio ヘルプは、弊社のサーバでホストされるオンラインヘルプがデフォルト設定で使用されるよう構成されています。このヘルプの構成は、新規インストールにも更新インストールにも適用されます。インストールパッケージからヘルプファイルが除外されたため、インストールファイルのサイズが大幅に縮小され、ソフトウェアのインストールと構成に要する時間も大幅に短縮されます。

オンラインヘルプには次の利点があります。

- ❑ ホスト型ヘルプモデルでは、いつでも最新のオンラインヘルプコンテンツにアクセスできます。
- ❑ アップグレード配信モデルでは、製品ソフトウェアパッケージのサイズが減少し、インストールおよび構成手順が簡素化されます。
- ❑ オンラインヘルプのアクセスには、オンラインヘルプシステムをホストする弊社サーバへのセキュアな接続を使用します (HTTPS)。

トピックス

- ❑ [TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプのオンプレミス展開](#)
- ❑ [Tomcat での TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの展開](#)
- ❑ [Tomcat のコンテキストファイルを使用した TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの展開](#)
- ❑ [TIBCO WebFOCUS App Studio ヘルプの構成](#)

TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプのオンプレミス展開

ホスト型ヘルプの使用が制限されているユーザは、次の手順に従って、使用する内部 Application Server にオンラインヘルプをインストールします。

8.2.07.27.0 より前のバージョンについては、技術サポートに問い合わせてください。

8.2.07.27.0 以降のバージョンでは、オンラインヘルプを弊社のドキュメントサイトから取得することができます。

1. 弊社のドキュメントサイト (<https://docs.tibco.com/products/tibco-webfocus-app-studio-8207-28-0>) で、「App Studio 8207.28.0」のページに移動します。
2. 「Online Help」下で、ダウンロードアイコンをクリックしてヘルプの ZIP ファイルをダウンロードします。

要件

App Studio オンラインヘルプの要件は次のとおりです。

- Java 8
- サポート対象の Application Server

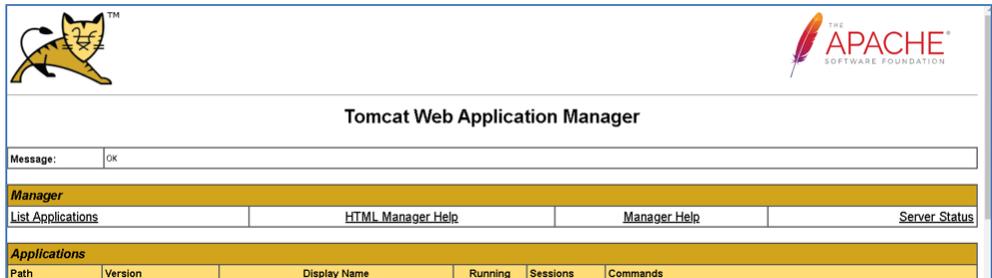
Tomcat での TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの展開

次の手順は、Tomcat Manager を使用して App Studio オンラインヘルプを展開する方法を示しています。

1. 次の URL を使用して Tomcat Manager に移動します。

`http://<servername>:<port>/manager`

下図のようなページが表示されます。



2. 下図のように、Tomcat Manager ページの [Deploy] セクションに移動し、[Context Path] に /ibi_apphelp を指定し、[WAR or Directory URL] テキストボックスに App Studio Web アプリケーションのパスを指定します。

Deploy	
Deploy directory or WAR file located on server	
Context Path (required):	<input type="text" value="/ibi_apphelp"/>
XML Configuration file URL:	<input type="text"/>
WAR or Directory URL:	<input type="text" value="D:\ashelp\ibi_apphelp.war"/>
<input type="button" value="Deploy"/>	
WAR file to deploy	

下図のように、App Studio オンラインヘルプアプリケーションが、Tomcat の [webapps] フォルダに展開されます。



App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの Tomcat での展開が完了すると、次のメッセージが表示されます。



Tomcat Manager コンソールでも、下図のように、/ibi_apphelp のステータスが true になります。

Context Path	Application Name	Current Version	Deployed	Start	Stop	Reload	Undeploy
/docs	None specified	Tomcat Documentation	true	Start	Stop	Reload	Undeploy
/ibi_apphelp	None specified		true	Start	Stop	Reload	Undeploy

3. ブラウザから次の URL を指定し、App Studio オンラインヘルプが利用可能であることを確認します。

http://<servername>:<port>/ibi_apphelp/index.jsp

下図のように、App Studio オンラインヘルプが表示されます。



Tomcat のコンテキストファイルを使用した TIBCO WebFOCUS App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションの展開

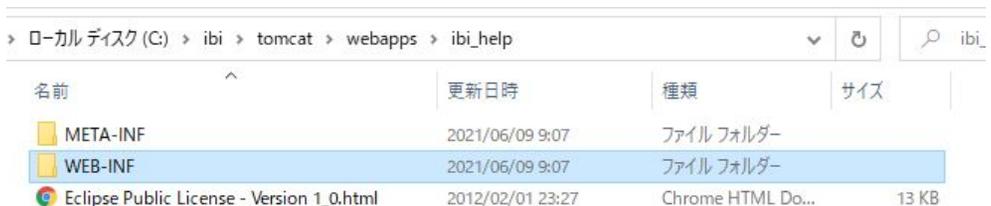
次の手順は、Tomcat のコンテキストファイルを使用して、App Studio オンラインヘルプを展開する方法を示しています。

1. Tomcat を停止して、Tomcat の [conf] ディレクトリに ibi_apphelp.xml コンテキストファイルを作成します (例、C:\Program Files\Apache Software Foundation\Tomcat 8.5\conf\Catalina\localhost\ibi_apphelp.xml)。
2. Tomcat の [conf] ディレクトリの ibi_apphelp.xml ファイルを編集し、必要な次の構文およびパラメータを追加します。この場合、docBase は App Studio オンラインヘルプ Web アプリケーションのパス、path は /ibi_apphelp です。以下はその例です。

```
<?xml version='1.0' encoding='utf-8'?>
<Context docBase="D:\ashelp\ibi_apphelp.war" path="/ibi_apphelp">
</Context>
```

この例では、ibi_apphelp.war ファイルは、D:\ashelp ディレクトリに格納されています。

3. 下図のように、Tomcat を起動し、ibi_apphelp.war が Tomcat で展開されていることを確認します。



4. ブラウザから次の URL を指定し、App Studio オンラインヘルプが利用可能であることを確認します。

`http://<servername>:<port>/ibi_apphelp/index.jsp`

下図のように、App Studio オンラインヘルプが表示されます。



TIBCO WebFOCUS App Studio ヘルプの構成

1. App Studio を起動します。アプリケーションメニューアイコン  をクリックし、[オプション] を選択して [ヘルプの構成] をクリックします。

下図のように、App Studio の [ヘルプの構成] オプションが表示されます。



2. オンプレミスオンラインヘルプ展開の情報を、[プロトコル]、[ホスト]、[ポート]、[ヘルプコンテキストルート] にそれぞれ入力します。

プロトコル - HTTP または HTTPS

ホスト - App Studio オンラインヘルプ展開先の Application Server の名前

ポート - App Studio オンラインヘルプ展開先のポート番号

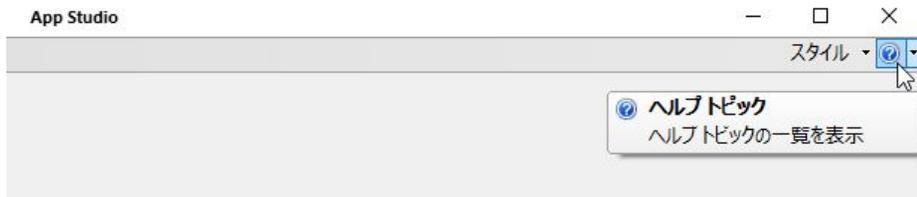
ヘルプコンテキストルート - /ibi_apphelp/index.jsp を指定

たとえば、サンプル URL の `http://myhost:8080/ibi_apphelp` を使用する場合、次の値を設定します。下図はその例です。



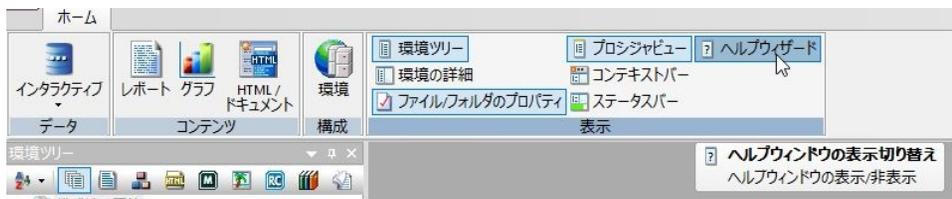
3. App Studio のヘルプメニューから App Studio オンラインヘルプがアクセス可能であることを確認します。

下図のように、App Studio ツールバーの [スタイル] メニュー横にある疑問符 (?) をクリックします。

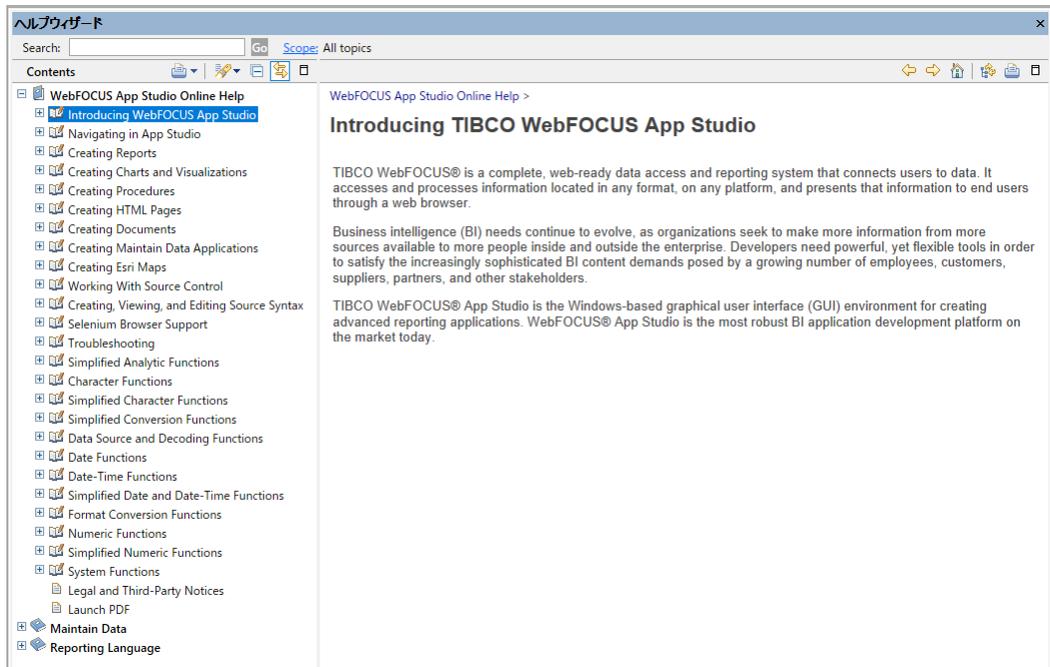


App Studio オンラインヘルプの URL を使用して、ヘルプが表示されます。

4. 下図のように、[ホーム] タブの [表示] グループで、[ヘルプウィザード] オプションをクリックし、ヘルプウィンドウを有効にします。



下図のように、[ヘルプウィザード] に App Studio オンラインヘルプが表示されます。



Legal and Third-Party Notices

SOME TIBCO SOFTWARE EMBEDS OR BUNDLES OTHER TIBCO SOFTWARE. USE OF SUCH EMBEDDED OR BUNDLED TIBCO SOFTWARE IS SOLELY TO ENABLE THE FUNCTIONALITY (OR PROVIDE LIMITED ADD-ON FUNCTIONALITY) OF THE LICENSED TIBCO SOFTWARE. THE EMBEDDED OR BUNDLED SOFTWARE IS NOT LICENSED TO BE USED OR ACCESSED BY ANY OTHER TIBCO SOFTWARE OR FOR ANY OTHER PURPOSE.

USE OF TIBCO SOFTWARE AND THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THE TERMS AND CONDITIONS OF A LICENSE AGREEMENT FOUND IN EITHER A SEPARATELY EXECUTED SOFTWARE LICENSE AGREEMENT, OR, IF THERE IS NO SUCH SEPARATE AGREEMENT, THE CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT WHICH IS DISPLAYED DURING DOWNLOAD OR INSTALLATION OF THE SOFTWARE (AND WHICH IS DUPLICATED IN THE LICENSE FILE) OR IF THERE IS NO SUCH SOFTWARE LICENSE AGREEMENT OR CLICKWRAP END USER LICENSE AGREEMENT, THE LICENSE(S) LOCATED IN THE "LICENSE" FILE(S) OF THE SOFTWARE. USE OF THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THOSE TERMS AND CONDITIONS, AND YOUR USE HEREOF SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF AND AN AGREEMENT TO BE BOUND BY THE SAME.

This document is subject to U.S. and international copyright laws and treaties. No part of this document may be reproduced in any form without the written authorization of TIBCO Software Inc.

TIBCO, the TIBCO logo, the TIBCO O logo, FOCUS, iWay, Omni-Gen, Omni-HealthData, and WebFOCUS are either registered trademarks or trademarks of TIBCO Software Inc. in the United States and/or other countries.

Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle Corporation and/or its affiliates.

All other product and company names and marks mentioned in this document are the property of their respective owners and are mentioned for identification purposes only.

This software may be available on multiple operating systems. However, not all operating system platforms for a specific software version are released at the same time. See the readme file for the availability of this software version on a specific operating system platform.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT.

THIS DOCUMENT COULD INCLUDE TECHNICAL INACCURACIES OR TYPOGRAPHICAL ERRORS. CHANGES ARE PERIODICALLY ADDED TO THE INFORMATION HEREIN; THESE CHANGES WILL BE INCORPORATED IN NEW EDITIONS OF THIS DOCUMENT. TIBCO SOFTWARE INC. MAY MAKE IMPROVEMENTS AND/OR CHANGES IN THE PRODUCT(S) AND/OR THE PROGRAM(S) DESCRIBED IN THIS DOCUMENT AT ANY TIME.

THE CONTENTS OF THIS DOCUMENT MAY BE MODIFIED AND/OR QUALIFIED, DIRECTLY OR INDIRECTLY, BY OTHER DOCUMENTATION WHICH ACCOMPANIES THIS SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY RELEASE NOTES AND "READ ME" FILES.

This and other products of TIBCO Software Inc. may be covered by registered patents. Please refer to TIBCO's Virtual Patent Marking document (<https://www.tibco.com/patents>) for details.

Copyright © 2021. TIBCO Software Inc. All Rights Reserved.